

分離から
統合へ

第54回俯瞰サロン

天外伺朗さん（元ソニー常務 土井利忠さん）に聞く サイエンティストのロマン～夢を現実に～

天外伺朗（てんげしろう）。本名、土井利忠。工学博士、エジンバラ大学名誉博士。東京工業大学卒業後、42年間ソニー株式会社に勤務。上席常務。

「CD（コンパクトディスク）、ワークステーション「NEWS」、 「AIBO」などの開発を主導。CSL（ソニー・コンピュータサイエンス研究所）、ソニー・インテリジェンス・ダイナミクス研究所を設立し、初代社長兼所長。

現在は、医療改革、教育改革の他、日本古代の先住民の歴史を辿る「日本列島 祈りの旅」に取り組むホロトロピック・ネットワークを主宰する一方で、天外塾という経営塾を主宰し、ホワイト企業大賞企画委員会委員長として日本の組織の在り方を探求する活動を行っている。

◆ホロトロピック・ネットワーク (<http://holotropicnetwork.wixsite.com/network>)

自らを見つめ、精神的な充実を求める人々のゆるやかな集まり。1997年にマハーサマディ研究会として発足し、2004年2月に現在の名称に変更。「ホロトロピック」とは、トランスパーソナル心理学会の創始者のひとりであるスタニスラフ・グロフ博士が、ギリシャ語の「holos（全体）」と「trepein（向かって進む）」を合成した「全体性に向かう」という意味を持った造語である。仏教の「悟り」であり「宇宙の根っこにつながる」こと。活動としては、医療、教育、精神世界など多分野をテーマとした講演会、ワークショップ、瞑想会、座禅断食などを開催。メルマガ購読会員は約2000名。「日本列島 祈りの旅」は、毎回数十人の方々が参加しており、『日本列島祈りの旅I』の上梓に続き、クラウドファンディングを利用した記録映画の制作に挑戦する（詳細は右のQRコードあるいはホロトロピックネットワークのHPから）。

◆ホワイト企業大賞 (<http://whitecompany.jp/>)

「ホワイト企業とは、社員の幸せと働きがい、社会への貢献を大切にしている企業」と大きく定め、“ホワイト企業大賞”という表彰制度をはじめとした“The White Company Way=ホワイト企業への道”を共に歩む活動を推進。ホワイト企業大賞の表彰がゴールではなく、さまざまなホワイト企業を探し、その在り方を学びながら人間性経営を追求し、進化し続けるための活動を行っている。2018年度は活動5年目となる。



◆天外塾 (<http://www.officejk.jp/>)



無意識層に巣くうモンスターたち

